

## 令和4年度 森林吸収源対策に関する県の取組み

R4.9.1 岐阜県林政部

### 1 調査・研究

#### 岐阜県モデル構築に向けた調査・研究（7,000千円）

- ・ 森林吸収源対策の岐阜県モデル構築等に向けた研究会や調査研究を実施
  - ①森林吸収源対策岐阜県モデル検討会
  - ②オフセット・クレジット評価検証プロジェクト研究会の開催及び調査事業
    - ・研究会の開催（年3回）
    - ・天然林（広葉樹林）における吸収量の算定方法の調査
  - ③森林信託の仕組み検討プロジェクト研究会の開催
    - ・研究会の開催（年3回）
  - ④森林吸収源対策普及事業
    - ・セミナーの開催（年1回）

【森林活用推進課・森林吸収源対策室】

### 2 技術・支援

#### 森林吸収クレジット認証取得に向けた技術・支援

##### （1）森林クラウドシステムによる情報共有（14,677千円）

- ・ 市町村が森林管理を効率的かつ効果的に実施できるよう、森林クラウドシステムの運用を4月から開始し、精度の高い森林情報を市町村へ提供

【林政課】

##### （2）モニタリング調査で必要となる森林の解析データの提供（ゼロ予算）

- ・ 航空レーザ計測データを用いて整備した民有林人工林の森林資源情報解析データを希望する申請者へ提供  
（単木の樹高データ及び位置データ、林小班単位の平均樹高等）

【森林活用推進課・森林吸収源対策室】

##### （3）森林資源量調査効率化事業費補助金（1,000千円）

- ・ ICTを活用した森林資源調査に取り組む企業・団体を支援

事業主体	・ 森林経営活動による二酸化炭素吸収量の認証取得に取り組む企業・団体等
対象経費	・ ICT、IoTなどの新技術を活用した森林資源量調査に要する経費を支援
補助率	・ 1/2以内
補助要件	・ 10ha以上の森林でクレジット認証取得に取り組むこと ・ 県主催の成果報告会等への協力

【森林活用推進課・森林吸収源対策室】

### **3 実践・評価**

#### **県営林Jークレジット認証取得事業（5, 200千円）**

- ・ 県営林においてJークレジット認証の取得に要する経費
    - ①対象県営林のモニタリング費用（R4～7年度認証分の森林を一括で調査）
    - ②計画書及びモニタリング報告書認証費用（1箇所：高山市久々野で認証取得）
- 【森林保全課】**

### **4 森林整備等**

#### **森林整備等による森林吸収源対策**

##### **（1）脱炭素社会に貢献する森林づくりへの支援（233, 064千円）**

- ・ 主伐・再造林への重点的支援により、森林の若返りや造林未済地の解消等を促進し、脱炭素社会に貢献する森林づくりを推進

**【森林経営課】**

##### **（2）早生樹の導入促進（4, 793千円）**

- ・ 早生樹（コウヨウザン等）の施業体系を確立し、導入を促進するため、成長経過の調査や分析などを実施

**【森林経営課、森林研究所】**

##### **（3）「地域森林管理支援センター」の機能強化（29, 839千円）**

- ・ 森林経営管理制度を運用する市町村を総合的に支援するため、支援センターの機能、体制を拡充し、市町村林務担当職員研修等を実施

**【森林活用推進課・森林吸収源対策室】**

##### **（4）造林保育専門会社等設立への支援（3, 780千円）**

- ・ 新設の造林保育専門会社等を対象に、起業支援金の給付と人材育成を図るOJT研修経費を助成

**【森林経営課・林業経営改革室】**